

食料・生命・環境の未来のための短期学生交流プログラム「変容する東南アジアー環境・生業・社会」を実施しました。

(2016年6月14日～2016年6月24日)

2016年6月14日から11日間の日程で、サマースクール「2016年京都研修プログラム」が行われ、タイのカセサート大学から、学生12名を短期交流学生として受け入れました。このサマースクールは、国際交流科目「変容する東南アジアー環境・生業・社会」に係る受入プログラムで、ワイルド&ワイズ共学教育受入プログラム、および世界展開力強化事業『人間の安全保障』開発を目指した日アセアン双方向人材育成プログラムの構築」との協力のもとに実施されました。

参加学生は、農学研究科の秋津元輝教授による講義「Agri-food World in Japan: Present and Future」を受講した他、農学研究科実験圃場、同付属木津農場を訪問するなどして、日本の農林業と環境について学びました。また、琵琶湖博物館と草津市立水生植物公園みずの森にて、琵琶湖の生態系および自然保護活動について学びました。

期間中には、湯川志貴子国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター准教授による講義「京都の文化」を聴講した後に、友禅染と着物着付けを体験し、ゆかた姿で清水寺を訪問するなど、日本文化への理解も深めました。

このプログラムでは国際交流科目（派遣）等を通じて、カセサート大学と縁の深い本学学生も多く参加し、タイ人学生との交流を深めました。



農学研究科実験圃場ツアー



琵琶湖博物館での講義



木津実験農場見学



着物姿で清水寺訪問